

多摩都市計画道路3・1・6号 南多摩尾根幹線 事業概要及び擁壁工事（鶴牧地区）に関する説明会（オープンハウス）

令和5年12月22日（金） 午後3時～午後8時

令和5年12月23日（土） 午前10時～午後5時

開催場所：鶴牧・落合・南野コミュニティセンター 来場者 合計48名

説明会における、来場者からの主なご質問と回答について

Q1 説明会に参加できない住民に対し、内容の周知をどのように図るのか？

後日、本日の資料を南多摩東部建設事務所のホームページに掲載する予定です。掲載内容について、ご質問等がある場合は、配布資料の最後のページにあるお問い合わせ先までご連絡いただければ、ご説明いたします。

Q2 事業全体の完了はいつごろか？また、鶴牧地区における今後の予定は？

まだ未発注の工事もあるため、はっきりとはお答えできないのが実情です。

鶴牧地区の今後の予定ですが、本擁壁工事の完了後、擁壁上部に道路を構築する工事（街路築造工事）を実施いたします。その後、車道部の切替（現況道路から新設道路）を行い、歩道部や副道部の工事に取り掛かります。なお、車道部の切替まで、最低でも3～4年ほどかかる見込みです。

Q3 バス停の位置は変わるのか？

鶴牧地区にあるY字橋付近（鶴牧五丁目）と鶴乃橋付近（南野三丁目）のバス停は、概ね現況の位置に設置する計画で、本線車道部に設置し、副道部には設置しない予定です。

Q4 今回の工事で道路までできるのか？

今回の工事は、擁壁を構築するところまでの工事となります。

Q5 自転車道は設置されるのか？

歩道部に自転車通行空間を整備し、自転車と歩行者を分離することで、安全性の確保を図る予定です。また、本線車道部左側端（路肩部）に2.0m幅を確保し、高速自転車（ロードバイク）に配慮した構造とする予定です。なお、鶴牧地区の副道部の一部区間においては、自転車と歩行者の通行区分を区画線で分離する予定です。

Q6 遮音壁は設置されるのか？また、完成後の騒音はどの程度か？

環境影響評価で設置する計画となっている箇所は、遮音壁を設置する予定です。なお、今回工事区間の擁壁上部に設置する壁高欄は、遮音効果も期待できる車両用防護柵です。また、完成後の騒音は、環境基準以下の予測となっております。

Q7 擁壁表面はすべて緑化されると聞いていたが、映像を見ると、擁壁上部に緑化されていない箇所がある。高さはどれくらいか？また、擁壁上部まで緑化することはできないのか？

擁壁表面は植生シートによる緑化を予定しています。擁壁上部は車両用防護柵のため、コンクリート構造物の設置が必要となります。車両用防護柵の高さは本線路面から約90cm、擁壁上部から約2mの高さが必要となります。なお、車両用防護柵は、構造上コンクリート構造となりますが、景観に配慮したものにできないか検討いたします。

Q8 家屋調査の時期（事前及び事後調査）はいつごろか？

事前調査は、調査対象の方に対し本説明会以降（年明け以降）、順次案内チラシを配布させていただく予定です。具体的な調査日時は、調査対象の方と直接調整させていただくため、ご協力をお願いします。

事後調査は、本擁壁工事以降、引き続き道路工事を進めていきますので、鶴牧地区における道路工事がすべて完了した後に実施する予定です。なお、事後調査前に家屋等に被害がある場合は、個別に対応いたします。